

胃がんを予防しよう

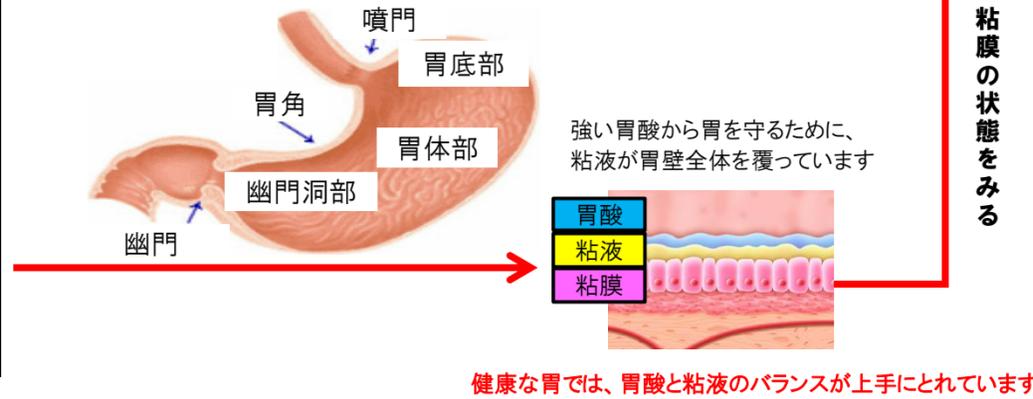
2. 生活の中でできること

胃の粘膜に影響する因子

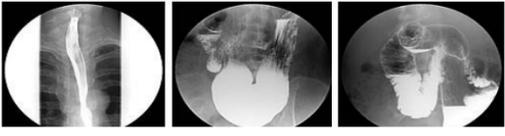
生活習慣	喫煙	<input type="checkbox"/> 喫煙 たばこには多くの発がん物質が含まれています また、血行を悪くして粘液の分泌を悪くします
	食事	<input type="checkbox"/> 高脂肪食 脂肪の多い食事には消化に時間がかかり、 それだけで胃酸分泌量が多くなります <input type="checkbox"/> 高塩分 高濃度の塩分は、胃粘膜を保護する粘液を破壊します <input type="checkbox"/> アルコール 発がん物質が体内に取り込ませやすくする作用
感染		<input type="checkbox"/> ピロリ菌の感染 感染率 60~70代80% 50代70% 40代50% 30代40%

1. 胃のお仕事と特徴

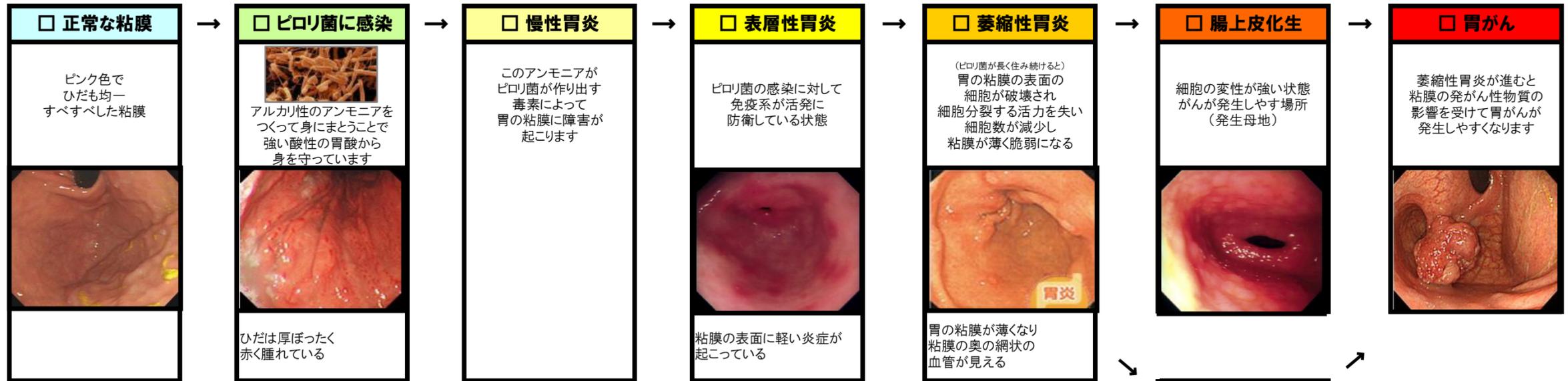
- ① 消化…食べた物は蠕動運動により、胃酸と混ざり合い消化され、十二指腸へ送り出す
- ② 殺菌…胃酸は強い酸性なので、食べ物と一緒に入ってきたウイルスや殺菌の増殖を抑えたり殺菌する



3. 検診でわかること

- ① 胃バリウム検査
 検査の前に発泡剤とバリウムを飲み、撮影台の上に乗
 り、体の向きを変えながらX線写真を数枚撮ります。

 胃全体の大きさや、食道～胃～十二指腸の粘膜の状態を見ることが
 できます。病巣の位置や進行度などもわかります
- ② 内視鏡検査(胃カメラ)
 バリウム検査で所見があった場合、その部分の粘膜
 の状態(病変の大きさや形、色、出血の有無など)を直接
 観察する検査です。

胃の粘膜の変化
 ↓ 私の胃の状態はどの段階?



ピロリ菌の感染を調べる方法

 [内視鏡検査] ○胃の粘膜の一部を採取し、 pH指示薬で反応を見たり、 組織培養を行う	 [尿素呼吸試験] ○薬を飲んでから 吐いた息を 調べる検査	 [抗体検査] ○血液や尿を 採取し、抗体の 有無を調べる	 [便中抗原検査] ○便の中に ピロリ菌が 含まれるか調べる
---	--	--	---

※検査方法は医療機関によって異なります

※必ずこの経過通りに、進行するわけではありません。胃の粘膜の状態を定期的に確認していくことが重症化予防につながります